



(1) イベントの様子



三木さんご夫婦 (左) 雅裕さん(右) 瑠美さん

(↓) ころ会から受け継いだ
手作りの梅干しと味噌



ゆっくりと大切に繋いでいく… ~ころ会~

約10年前から、吉武地区の有志の方々(メンバーは吉武伊都子さん、河東スミエさん、荒牧節子さん、近藤昭子さん、梅田真知子さん、合屋ふき子さん、そして故・石松千代子さん)で、ずっと活動してきた「ころ会」。高齢化に伴い、活動が困難になりつつあり、ずっと後継者を探していました。そんな中、白羽の矢が立ったのは、山附地区に住む三木瑠美さんでした。ずっと地域に寄り添ってきた「ころ会」を受け継ぐことになった瑠美さん。どんな思いで継ぐことを決意したのか、お話を伺いました。

Q.ころ会を受け継いでほしい、との話を聞いた時、どうでしたか？

A.お話を頂いたときは戸惑いましたが、生まれ育った吉武地区に少しでも貢献できることがあるなら…、と引き受ける事にしました。

Q.現在、どんな活動をされていますか？

A.ころ会とみきふぁーむ(ご主人の雅裕さんの農家の屋号)でお野菜の販売・加工品(手作り味噌や梅干し)の販売を主に行っています。毎週水曜日、赤間ヶ丘2区で行われている朝市と、2ヶ月に1回、日の里48の「おでかけ48」というイベントにも出品しています。新鮮なお野菜がとても好評です。並行して、今までのころ会の活動(味噌の作り方から、人脈まで)を少しずつ前任者から引き継いでいるところです。JAあゆみ会に属する母と母友人、夫の協力も得ながら、現在ひとりで頑張っています。

Q.将来目指すところは？

A.高齢者が元気に健康で過ごせるきっかけとして、畑仕事で作った野菜が少しでも収入につながる仕組みを作っていけたら。若い人が働けるような場所づくりや、吉武の子ども達に農業体験もさせてあげたい。作ってみたい野菜も次から次へと出てくる。やりたい事は沢山あるけれど、まだまだ追いついていないのが現状です。周囲の手を借りながら、自分なりに頑張っていけたら、と思っています。

話を聞き終わり、大変ではないですか？との広報委員の問いに、「そうですね。でも楽しくやっているから」と笑った瑠美さん。これからの吉武地区が明るいものとなることは、間違いなさそうです。(吉武地区コミュニティ運営協議会 広報委員会)

宗像市長と！車座トークin吉武コミセン



宗像市を
元気にしたい！

1月27日(金)に伊豆美沙子市長を囲んでの「市長車座トーク」が当コミセンで開催されました。「市長車座トーク」とは、市政に関する市長の考えや思いを聞き、コミュニティと行政がまちづくりについて一緒に考え、語り合う場として開催されるものです。

市長から、世界遺産を活用したまちづくり、子育て支援、高齢者福祉施策、都市再生、安心・安全への取り組み等について説明が行われた後、コミュニティ役員及び自治会長と活発な意見交換が行われました。今後も宗像市が、吉武地域が住みやすく、住んで良かったと思われる地域となるよう、率直に話し合える場として「市長車座トーク」が継続して行われることを期待しています。(吉武地区コミュニティ運営協議会)



試したて

NO.246

令和5年3月1日

発行元
吉武地区コミュニティ
運営協議会広報委員会
TEL (32)5904
FAX (32)5958

吉武コミセンHP



よい街づくり
をするには？



吉岐市まちづくり協議会 視察

2月16日(木)/吉武地区コミュニティ・センター

コミュニティ活動の先進地研修として、長崎県吉岐市の「まちづくり協議会」役員の皆さん、23人を受け入れました。当地区のコミュニティ活動や質問事項の説明の後、活発な意見交換が行われました。吉岐市では4年前からまちづくり協議会が発足しており、宗像市のコミュニティ活動が大変参考になり、今後の活動に生かしたいとの感想を頂きました。(吉武地区コミュニティ運営協議会 副会長 高山 國敏)

何回も撮って
練習です！

コミセンの日 「シニアの為のスマホ教室」



【“貴重な一瞬！”
スマホで】

1月29日(日)10:00より「シニアの為のスマホ教室」が定員いっぱいの15人の参加者で行われました。

今回は、写真や動画の撮影方法や送り方を学び、日ごろは、我流で使っていたので大変勉強になりました。年を取ると覚えつつもりでも、家に帰ると忘れてしまい、「アレ？どうするんだっけ？」となっても資料を頂いているので、見直しでき、大助かりです。今後も認知症予防で参加したいと思います。(参加者より)

みんなで遊ぼう会/健康福祉部会



とても有意義
な時間をすご
せました

講師 酒井先生

2月12日(日)酒井先生(みづかネットワーク代表)による「生活にいかせる認知症予防」の講演を催しました。分かりやすく楽しいお話には生活に生かせるアイデアが沢山紹介されました。「慣れないことへのちょっとした挑戦」を楽しみながら行う事が、生き生きとした生活を送るためのカギのように思いました。また運動についてのお話は、病院でリハビリを担当されてます、野間口先生から、続ける工夫等のポイントを教えて頂きました。(健康福祉部会 原田 昌子)

よしたけでみた!



2月7日八所宮にて撮影。寒くなったり温くなったり、なかなか定まらない天気にも翻弄される毎日ですが、花には春の訪れが分かるようです。今年も、もうすぐ春がやってきます。

お知らせ



1月末日現在の吉武地区の人口
 世帯数 851世帯(-3世帯)
 人口 1,808人(-13人)
 男性 864人(-9人)
 女性 944人(-4人)

コミュニティ・センターより

●毎週月曜日は休館日です

来館の際は、スリッパの持参・マスクの着用
 手指消毒をお願い致します。

地域・環境整備部会

回覧
 チラシ有

●第4回 不法投棄ゴミ回収作業

日時：3月5日(日) 8:00~

集合場所：吉武地区コミュニティ・センター下駐車場

*参加される方は受付簿に記入をお願いします。

*小雨決行します *順延日：3月12日(日) 8:00~

民生主任児童委員

回覧
 チラシ有

●吉武 すくすくサロン

日時：3月10日(金) 10:00~12:00

※この時間内であれば何時からでも参加できます

場所：吉武地区コミュニティ・センター

対象：0歳児からの親子、妊婦さんも歓迎です

費用：無料 お気軽にご参加ください♪

問合せ：吉武地区コミュニティ運営協議会

主任児童委員 坂井(090-7295-9250)

高山(090-4172-4298)

よしたけ福祉の郷づくり

回覧
 チラシ有

●桜の花、楽しみませんか？

日時：3月29日(水) 10:00~12:00

集合場所：八所宮 大駐車場

申込：必要(送迎の有無をお知らせください)

参加費：300円

*マスクの着用お願い致します。

問合せ：吉武地区コミュニティ・センター

☎32-5904



事務局企画「コミセンの日」

●シニアの為のスマホ教室

内容：スマホを安心・安全に使うために

日時：3月26日(日) 10:00~12:00

(受付9:45~)

場所：吉武地区コミュニティ・センター(多目的ホール)

講師：(株)ティーガイア(くりえいと宗像ドコモショップ)

参加費：無料

締切り：令和5年3月15日(水) 17:00まで

★詳細は回覧板にてご確認ください。

回覧版あり
 先着15名!

市役所より

3月からごみの収集開始時間が変わります。

午前6時30分から収集開始

令和5年3月1日(水)~令和5年10月31日(火)まで

※出し遅れがないように注意してください。

問合せ先：環境課 36-1421



消費生活センターより

～電力会社の切り替えは慎重に～

『“乗り換えると電気料金が安くなる”と電話がかかってきた。先日の電気料金が高かったので乗り換えたが、思ったほど安くなかった』という相談が寄せられています。

電気料金の高騰に伴い、今後電力会社からの勧誘が増加すると思われます。契約先を変更する場合には、契約前にメリットやデメリットをよく調べ、慎重に検討しましょう。電話勧誘や訪問販売で契約した場合は、契約書面を受け取って8日以内であればクーリング・オフが出来ます。



宗像市消費生活センター

0940-33-5454



【相談時間】※年末年始を除く
 平日(月~金) AM8:30~PM5:00
 消費者ホットライン188番(いやや!)

食進会より



【メニュー】

- ・麦ごはん
- ・焼き鰯の香味ソースがけ
- ・ほうれん草とひじきのサラダ
- ・あかもく汁

鐘崎漁港から魚介類が豊富に供給されている宗像市です。食進会でも魚を使った調理実習を度々行います。2月は魚の調理の基本である“3枚おろし”を鰯(1人1匹)を使って実習しました。骨にまだたくさん身の身が付いていたので、軽く塩を振って油で二度上げし、骨ごとバリバリ食べました。

※食進会宗像市本部では、食進会の有志より養成された“魚さばき隊”があり、市内の小中学校で魚の捌き方と調理の実習が行われています。

(食進会 吉武支部長 合屋 ふき子)

正助ふるさと村 アンテナショップ

道の駅むなかた敷地内にあるお店
 (宗像市江口 1172)

宗像や

コストコーヒー
 カフェラテ
 300円



からあげ串 230円

むなかた牛コロッケ
 150円

孝行や

肉まん(冬限定)
 豚まん 350円
 鶏まん 300円



孝行焼き
 (土日限定)
 3個入 100円

・ソフトクリーム 各種
 ・フロートあります

正助ふるさと村
 問合せ：0940-35-1100(代)

編集後記

今年も卒業シーズン、3月がやってきた。小学6年生は小さな小学校から市内1番の大規模中学校である城山中学校へ、中学3年生はそれぞれの夢に向かって各高校へ! 皆さんが自分の無限の可能性を信じ、新たな世界へ自信をもって飛び込まれることを応援しています(I)